

社会的インパクト評価に関する作業部会

G8 インパクト投資タスクフォース¹

G8 議長国の英国により設立

社会的インパクト評価ガイドラインの運用：5つの事例²

この文書では5つの事例を紹介し、様々な組織が社会的インパクトの評価をどのようにして確実な形で実践してきたかを説明します。また7つのガイドラインの運用方法や、社会的インパクト評価への取り組み方を決めた背景、重要な出資者の参加への働きかけ方、そして「社会的インパクト評価に関する教訓」についても説明します。

本質的に異なるこの5つの組織の事例を通して、投資家や投資先が、社会的インパクト評価の7つのガイドラインをもとに、それぞれに合った社会的インパクト評価への取り組みができるようになることを目指しています。5つの組織とは以下の通りです。

- **事例1 Bridges** は専門的なファンド運用機関です。社会的インパクトを主眼にした投資アプローチを用い、社会的インパクト評価について独自の方法論を展開しながら、多額の投資をしています。投資先がそれぞれ目標とした社会的インパクトを達成できるように、また、投資のリスクとリターンを見極めるために、社会的インパクト評価を活用しています。
- **事例2 Social Finance US and the New York State Social Impact Bond (SIB)** は、**成功報酬型**の投資のメカニズムです。この投資構造の中心となるのが社会的インパクト評価で、プログラムが目標とした社会的インパクトを達成したと評価されて初めて成功報酬の支払いが行われます。全てのSIB関係者は、プログラムが成功したかどうかを査定する義務があります。投資家はプラスの効果を強調しがちですが、事業者は報酬の支払いスケジュールやプログラムの経費削減を決める上で社会的インパクトのデータを必要としています。
- **事例3 Investisseurs & Partenaires (I&P)** はアフリカの中小事業への投資に重点を置く社会的インパクト投資のグループです。I&Pは、経営上の戦略を強化するために投資によるインパクトを測定します。しかし同時に、投資先の事業やその社会的インパクトを確固たるものとし最大限に活用するために投資先の能力を強化するものでもあります。
- **事例4 Oikocredit** は、**投資協同組合**（金融仲介機関）です。組合員である投資家は、世界中のマイクロファイナンス機関への投資が貧困の削減に効果的に貢献しているかを評価しなければなりません。オイコクレジットの社会的インパクト評価は、投資先が参画することで可能になり、組合員とも協力してそれぞれのインパクト評価の能力を向上させるものです。
- **事例5 One Acre Fund** はケニアに拠点をおく非営利団体です。限られた資金の中で、社会的インパクト評価に対して非常に実際的なアプローチを行っています。彼らの使命をどの程度果たせるか、それにより活動をいかに展開していくかを見極めることに主眼を置く評価を行っているのです。

事例4 オイコクレジット



事業地： 本部 オランダ、投資先は全世界

業種： マイクロファイナンス

受益者： 農村、農業団体、女性 及び 低所得者

評価指標：44、主に、目標・実践・成果・アウトリーチ・効果に関するもの

インパクト評価に関する言語を共有する機関（例えば IRIS）： MIX Market、社会的業績タスクフォース、国連の責任投資原則（UNPRI）、顧客保護原則、ILO、国連環境計画(UNEP)

作業部会のガイドラインの適用： 7項目中7

概要

オイコクレジットは、オランダに本拠点を置く協同組合で、地域でのプレゼンスも高く、世界中に会員を持っています³。主に途上国のマイクロファイナンス機関、協同組合、フェアトレード、中小企業を対象とした融資や投資を行っています。オイコクレジットは、マイクロファイナンスへの民間の資金提供機関としては世界最大規模の機関の一つで、総資産は7億7900万ユーロ、融資残高合計は5億9500万ユーロです⁴。主な対象は農業団体や女性で、約70カ国の854のパートナー機関（うち、566はマイクロファイナンス機関）に投資しています。マイクロファイナンス機関（MFIs）や農業団体などを通してのオイコクレジットの投資の受益者数は、世界の2800万に達します⁵。

オイコクレジットは、そのインパクト評価の取り組みとして **次の4** の目標を設定しています：1) パートナー機関の社会的業績（インパクト）を査定すること、2) パートナー機関と協働して彼らのインパクト評価とサービス提供の能力を向上させること、3) 金銭的利益と共に社会的利益を求める組合員に情報を開示すること、4) 社会的投資機関であることを法に則って表明すること。

オイコクレジットの社会的インパクト評価の取り組みは、様々な内的・外的要因から形作られてきました。オイコクレジットは投資を行う協同組合で金融仲介機関としての役割があるので、そのインパクト評価を実践するには投資先であるマイクロファイナンス機関の参加と協力が非常に重要になります。したがって、オイコクレジットの社会的インパクト評価の活動には、投資先のパートナー機関に社会的インパクト評価の実施を促すだけでなく、MFIのネットワークに社会的インパクト評価の文化を広められるように、選ばれたパートナー機関の能力を強化する支援も必要です。

加えて、オイコクレジットのMFIパートナーは、多様な国、中でも低・中所得の国々を中心に活動しているため、そういった国で社会的インパクト評価をするのはとても困難です。（例えば、遠隔地の農村で、データを収集することは容易ではなく、公的な情報を入手する方法も限られています。）このような状況に対応するため、オイコクレジットはMFIの事情を考慮し、彼らと協力して可能な手段を使って社会的評価を行っています。

オイコクレジットが、社会的インパクト評価を始めたのは 2006 年でした。それは、自分達がどれほど社会的使命を達成しているかの意識をより強く持つため、そして、社会的業績タスクフォース（Social Performance Taskforce）や MIX Market⁶などによって MF 業界全体に導入され推進されてきた施策と連動するためです。その後も内部のフィードバックやマイクロファイナンスの評価に関する様々な議論への参加を通じて、評価手法を改善してきました。2010 年、オイコクレジットは、データを収集するプロセスの大幅な改善を行い、2013 年には、評価システムについて 2 回目の第三者機関による監査を行いました。その格付けレポートは、オイコクレジットの社会的実績を、「非常に優れている」（excellent）と評価しています。

投資家の社会的インパクト評価への強い思いもあり、オイコクレジットはパートナー機関が継続的に改善していくようたゆみない働きかけができています。また、パートナー機関自身も社会的インパクトのために努力しています。オイコクレジットは、それらがこれまでの社会的インパクト評価の成功の主要因だと考えています。

どのように社会的インパクト評価の取組みを発展させたいのかとの質問に対し、オイコクレジットの回答は、パートナー機関への投資によるインパクトを評価する能力を向上させること、そして、自らの評価能力とパートナー機関の評価能力の改善を継続していくこと、というものでした。また、データから得た結果をパートナー機関にフィードバックして、彼らがそこから学びより良い方針をうちだしていくことも目指しているとのことでした。

ガイドライン

- ・オイコクレジットのミッションは、融資の提供によって不利な立場にある人々に力をつけることです。この協同組合は、明確なミッションと戦略を持っていますが、「社会変革理論」（Theory of Change）は明示していません。しかし、オイコクレジットと共通のミッションをもつパートナーを選び、投資やパートナーシップを通じてパートナーの「社会変革理論」を理解し実現するために活動しています。
- ・オイコクレジットはモニタリングの手順書と共に、ESG スコアカード（環境・社会・ガバナンスの採点カード）を開発しました。これは「社会変革理論」に向けた各パートナー機関の進歩を査定する手段として評価枠組みの基盤をなすものです。スコアカードには 23 の業績評価指標のリストがあり、国別マネージャーがパートナー機関を訪れた際に、これに記入します。これを補足するのが、パートナーから提出された 21 の指標です。オイコクレジットはスコアカードで集めたデータを統合し、その検証と分析のために情報管理システムに保管します。
- ・オイコクレジットは社会的インパクトに関するデータを組織内の様々なレベルで検証します。国別データは地域別マネージャーが検証した後、本部の事務所に送られます。そこでは専門チームがデータを再検証し、その後分析に回す承認を出します。検証されたデータを基に、オイコクレジットは、地域別及び世界レベルでの社会的業績の報告書を作成します。

- ・全世界、地域、国別のマネージャーは様々な報告書を使い、パートナーと共にデータを分析・解釈し、データが示唆する点や必要な支援活動・是正措置を明らかにしていきます。オイコクレジットは、社会的業績に関する年次報告書も作成しています。これは主要な業績評価指標に対する全てのパートナーの実績をまとめたものです。
- ・また、オイコクレジットは、データに基づく経営とその持続的な改善のために積極的に取り組んでいます。そして社会的業績報告書の結果に基づいて投資の決定を行い、パートナーと協力して、彼らの社会的インパクトを最大限に引き出すために活動すると共に、彼らのインパクトの評価方法を改善していきます。

目標の設定

オイコクレジットのミッションは、融資の提供により、不利な立場にある人々の力をつけることです。オイコクレジットの社会的インパクト評価の目的は、次の4点です。1) パートナー機関の社会的業績(インパクト)を測定する(方針の決定や学び)、2) パートナー機関と協力して彼らのインパクト測定やサービス提供の能力を向上させる(方針の決定や学び)、3) 金銭的利益と共に社会的利益を求める協同組合の会員に情報を提供する(説明責任)、4) 社会的投資機関であることを示す(特徴を示す)。

枠組みの策定と指標の選択

オイコクレジットは自身が開発した ESG スコアカードを使って、パートナー候補の組織に対してデューデリジェンス(投資適格性の審査)を実施し、実際にパートナーとして投資した場合のリスクと予想業績を審査します。このスコアカードは、セクター別の指標とともに、オイコクレジットの評価枠組みの基盤をなすもので、多くの MF 業界の基準と連携しています。その中には、MF Transparency、顧客保護原則、UNPRI(国連の責任投資原則)、IRIS(インパクト報告・投資基準)、CERISEの社会的業績指標・ツールが含まれます。

国別マネージャーは、パートナー機関の経営陣との話し合いにスコアカードを用い、それに基づいたデータを集めます。また、国別マネージャーは、スコアカードが現地の状況からみてどれほど妥当か、また適切かという点について、本部に報告します。これによって、スコアカードがパートナーの運営や各国の状況に確実に対応できるよう、枠組みや測定基準を改善することができます。

このスコアカードは、パートナーの運営プロセスも査定し、高い金利設定や、顧客保護原則に沿っていない等の負のインパクトを評価するための特別な指標も含んでいます。

データの収集と保管

オイコクレジットは、進行中の運営データと毎年末のデータの両方をパートナー機関から収集します。国別マネージャーはその国のパートナーの窓口として、パートナーのオフィスを訪れた時には、必ず集めたデータをパートナーのスコアカードにインプットします。それは情報管理シス

テムを通して行われ、検証と分析のためにデータは保管されます。さらに、オイコクレジットは、パートナー機関の年次の主要な評価指標のデータを、国別マネージャーを通して収集します。直近では、94%のパートナーがデータを提出していました。

オイコクレジットは、データ収集がパートナーにとって負担とならないように努めています。パートナーの満足度調査を行い、パートナーからの意見を集める時も、特に報告義務事項に焦点が当てられます。オイコクレジットは、パートナーの評価活動を支援するため、技術的なまた運営上のアドバイスも提供しています。

データの検証

オイコクレジットは、社会的インパクトに関するデータを組織内の様々なレベルで検証することにしていきます。国別のデータは、地域別マネージャーが検証した後に、本部事務所に送られ、専門のチームが受領したデータを再検証し、その後、分析の手続きに回されます。これらの検証手続きにより、信頼性のあるデータが利用可能となり、ポートフォリオや投資案件ごとに社会的業績を評価することができるようになります。オイコクレジットは、また、社会的インパクトのデータについて第三者機関による監査を実施しており、2009年にはM-Cril、2013年にはPlanet Ratingによる監査を受けました。最新のPlanet Ratingによる格付けレポートでは、オイコクレジットの社会的業績に対して、「非常に優れている」(excellent)という評価が与えられました。

データの分析

データが検証された後、本部・地域・国別のマネージャーはパートナーと共にデータを精査し、データが示唆するものから年間を通じた支援活動や是正措置を決めていきます。

オイコクレジットは、先駆的なダッシュボード(情報一覧システム)を開発し、パートナーや国ごとの業績を、他のパートナーや国の業績や水準となるデータ、MIXマーケットのデータや世界のデータと比較し、結果を分析できる体制をとっています。地域マネージャーは、国別マネージャーやパートナーとのミーティングの際、このシステムを活用することで、各種の比較分析ができ、議論を深めることができます。

1年間の業績を検討するため、オイコクレジットは、地域や世界の視点での社会的業績の報告書を作成しています。これらの報告書には、主要な業績評価指標や市場の動向や規範に照らし合わせた業績の詳細が書かれており、地域マネージャーと国別マネージャーに配布されます。データや評価指標などが妥当でない、もしくは有益でないと判断された際には、オイコクレジットは、データの収集方法を見直すこととしています。

データの報告

オイコクレジットは、パートナー向けの詳細な業績報告書に加え、社会的業績に関する年次報告書を作成しています。これは、主要な指標についてパートナーの業績を纏めて詳細に説明したものです。オイコクレジットが新規開発したダッシュボード(情報一覧システム)と併せて、この

報告書は、オンラインセミナーやワークショップを通じて、マネージャーやパートナーが情勢や動向を見極めるのに活用されます。オイコクレジットは、ウェブサイト上でこのレポートを公開し、評価手法や検証手続き、運営方法、定性的なインパクトについて詳細な説明を行っています。

データに基づく投資判断

これまで述べてきたとおり、オイコクレジットは、投資家やパートナーとアクティブな関係を維持しています。十分な情報交換を経た上で意思決定が行われるよう、データの収集と確認は投資家やパートナーと共に行っています。それは、マイクロファイナンス機関が高い金利を設定するような困難な場合も含まれます。オイコクレジットは、適切な投資判断ができるよう、収集したデータを活用しているのです。それにはオイコが培ってきた洞察力を活用するだけでなく、スコアカードデューディリジェンス（投資適格性の審査）を改良していくことで可能になります。パートナーはこの分析結果を基に、業務の改善を行います。

オイコクレジットは、その指導プログラムを通していくつかのパートナー機関の評価能力の向上に尽力しています。また、「社会的業績タスクフォース」や「貧困からの脱出」(The Social Performance Taskforce and Progress Out of Poverty)などMF業界の様々な取組みにも参加し、より広い領域での評価能力の向上にも貢献しています。

(翻訳協力： 東京 YWCA 国際語学ボランティアズ (ILV) 吳みどり、柴田幸子)

- ¹ G8 インパクト投資タスクフォースは、2013 年 G8 サミット議長国の英国首相の呼びかけにより、インパクト投資をグローバルに推進することを目的として創設されました。G8 諸国の政府・金融など各界のリーダーが集まり、インパクト投資市場の発展を目標としています。日本からは、外務省が政府代表、日本財団が民間代表として、第4回会合から参加しています。(G8 インパクト投資タスクフォース日本国内諮問委員会の HP より <http://impactinvestment.jp/about/>) タスクフォースの HP は、<http://www.socialimpactinvestment.org/about.php> を参照下さい。
- ² 本翻訳の原文は、G8インパクト投資タスクフォースが2014年9月に発行した“Measuring Impact-Subject Paper of the Impact Measurement Working Group” (<http://www.socialimpactinvestment.org/reports/Measuring%20Impact%20WG%20paper%20FINAL.pdf>) の事例研究の章の元になったもので、次のサイトからダウンロードできる。
http://gle.iipcollaborative.org/wp-content/uploads/sites/4/2014/09/IMWG_Case_Studies.pdf
ここでは、最初の説明とオイコクレジットについての事例のみを翻訳している。なお、本翻訳でも出てくるインパクト評価の7つのガイドラインとは、目標設定、枠組みの開発と指標の選択、データ収集と保管、検証、データ分析、データ報告、データに基づく運営を指しており、事例についてもこれらのガイドラインに沿って説明している。
- ³ 概要と背景は次の資料より引用。特定のデータ項目に関しては関連資料から。
主な引用元：Deloitte Consulting LLP Team によるインタビュー、及び 2014 年 6 月に Kawien Ziedses des Plantes(通信管理者)、Robin Gravesteijn(社会的業績の分析家)、Ging Ledesma(社会的業績及び金融解析のディレクター)、Sonja Ooms(プログラムマネージャー、社会的業績と融資審査課)から得た情報。
オイコクレジットの社会的業績評価に関する情報はオイコクレジットのウェブサイト (<http://www.oikocredit.coop/what-we-do/social-return/>) より。2013 年の社会的業績に関するレポートは次のウェブサイト (<http://www.oikocredit.coop/publications/social-performance-report>) より。
- ⁴ <http://www.oikocredit.coop/>
- ⁵ オイコクレジット社会的業績レポート (<http://www.oikocredit.coop/publications/social-performance-report>)
- ⁶ 社会的業績タスクフォースは世界中の 1600 以上のメンバーとマイクロファイナンス関係機関のグループから構成され、関係機関ともに社会的業績管理と報告を進展させ、広め、促進するという使命を共有している。
(<http://sptf.info>) MIX は、世界の貧困層に金融サービスを届ける MF 機関の各種データや分析結果、研究やビジネスの情報を提供している。
(www.themix.org)